



電力効率管理の設定

Cisco 3900 シリーズ、2900 シリーズ、および 1900 シリーズ サービス統合型ルータ第 2 世代 (ISR G2) には、電力消費を抑えるためのハードウェアおよびソフトウェア機能があります。ハードウェア機能としては、高性能 AC 電源および RAM 選択やクロック ゲーティングなど、省電力機能を内蔵した電気部品があります。これらのハードウェア機能の詳細については、ご使用のルータのハードウェア インストール ガイドを参照してください。ソフトウェア機能には、EnergyWise が含まれます。これは電力効率管理機能で、使用されていないモジュールの電源を切り、ルータのモジュールおよび周辺機器への使用されていないクロックをディセーブルにします。EnergyWise をサポートするには、ISR G2 で Cisco IOS Release 15.0(1)M 以降を実行している必要があります。設定手順の詳細については、Cisco.com の『Cisco EnergyWise Configuration Guide』に記載されています。

ここでは、ISR G2 で実行中の EnergyWise 機能に関する一般情報について説明します。

- 「EnergyWise をサポートするモジュールとインターフェイス」(P.1)
- 「電力効率管理および OIR の制約事項」(P.2)

EnergyWise をサポートするモジュールとインターフェイス

表 1 は、この製品のリリース時点の EnergyWise とともに使用できるモジュールおよびインターフェイスカードを示します。

表 1 電力効率管理機能をサポートするモジュール

モジュールのタイプ	モジュール名
SM	SM-ES2-16-P
	SM-SRE
NM	NM-16-ESW ¹
NME	NME-16ES-1G-P
HWIC	HWIC-4ESW-POE
	HWIC-1G-SFP
	HWIC-2FE

表 1 電力効率管理機能をサポートするモジュール (続き)

モジュールのタイプ	モジュール名
ISM	ISM-SRE-300-K9
PVDM3	PVDM3-256
SRE	SM-SRE-700-K9

1. NM-16ESW は Cisco 3945E および Cisco 3925E ではサポートされません。

電力効率管理および OIR の制約事項

電力効率管理機能を使用する場合、次の制約事項が適用されます。

- 活性挿抜 (OIR) コマンドは、モジュールが省電力モードにある場合は使用できません。
- OIR コマンドを実行すると、電力効率管理をサービス モジュールで設定することはできません。